

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成18年9月21日(2006.9.21)

【公開番号】特開2005-58319(P2005-58319A)
 【公開日】平成17年3月10日(2005.3.10)
 【年通号数】公開・登録公報2005-010
 【出願番号】特願2003-289819(P2003-289819)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 6 D

【手続補正書】
 【提出日】平成18年8月4日(2006.8.4)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

遊技盤を見る窓が形成された前面扉を開閉可能に設けたパチンコ機において、
 前記前面扉は前面側に外側から内側が透けて見える樹脂材料の窓枠体を形成すると共に
 該窓枠体の裏面に図柄意匠を描いた図柄意匠シートを装着し、前面扉の前面から前記窓枠
 体裏面の図柄意匠シートを視認可能に設けたことを特徴とするパチンコ機。

【請求項2】

前記図柄意匠シートは、不透明な紙、樹脂、布製シートからなり、各種図柄意匠が表示
 されたものであることを特徴とする請求項1記載のパチンコ機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0009
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【0009】

本発明の請求項1の発明は、遊技盤を見る窓が形成された前面扉を開閉可能に設けたパ
 チンコ機において、前記前面扉は前面側に外側から内側が透けて見える樹脂材料の窓枠体
 を形成すると共に該窓枠体の裏面に図柄意匠を描いた図柄意匠シートを装着し、前面扉の
 前面から前記窓枠体裏面の図柄意匠シートを視認可能に設けたことを特徴とするパチンコ
 機である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0011
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【0011】

本発明の請求項2の発明は、請求項1記載の発明において、前記図柄意匠シートは、不
 透明な紙、樹脂、布製シートからなり、各種図柄意匠が表示されたものであることを特徴
 とするパチンコ機である。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

図柄意匠シートは、印刷容易な紙や樹脂製のシートであってもよく、また自然の布生地を表示してもよく、図柄が織り込まれた布生地を表示するようにしてもよく、更にまた、印刷カラー表示に夜光塗料など特殊なインクで表示したものをを用いて、実際の使用される環境での照明具合に応じてカラー表示が変化する様に設けてもよい。これによって、これまでにない変化に富んだパチンコ機の前面表示が行えるものである。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

また、前記図柄意匠シートは、前記パチンコ機の表面を形成する窓枠体とガラス板を保持するガラス枠体との間に挟着するのが好ましい。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

即ち、前面扉は前記窓枠体の裏面にガラス枠体を組付けてガラス板を保持するので、このガラス枠体で前記図柄意匠シートを前部の窓枠体裏面に挟着し、一体の前面扉を形成することができる。

更に、図柄意匠シートは透明材料の窓枠体に装着してあればよく、窓枠体に保持する方法としては、図柄意匠シートの裏面からガラス板を保持するガラス枠体を窓枠体に組付けて挟着してもよい。また、別の図柄意匠シート押さえ部品で窓枠体裏面に保持しても良く、さらにガラス枠体に図柄意匠シートを貼付けこのガラス枠体を窓枠体に組付けて窓枠体裏面に図柄意匠シートを装着してもよい。また、窓枠体の図柄意匠装着部隅角部裏面に小突起を突出して設けこの小突起で図柄意匠シートを保持してもよい。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

また、前記窓枠体は、内側に装着した図柄意匠シートが透視できる無色透明ないし有色透明な樹脂材料からなる。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

例えば窓枠体をクリアな無色透明な樹脂材料で形成することができ、図柄意匠シートの図柄意匠通りの状態で前面に表示される。また窓枠体の成形材料に各種カラーが入った透

けて見える樹脂材料で形成することもでき、この場合は、このカラーと共に図柄意匠シートの図柄が表示される。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

図2において、窓枠体21の後面に、図柄意匠シート31が上記各ランプ飾り22、飾り窓23、表示窓24部分を除いて装着されている。図柄意匠シート31は、表示側にパチンコ遊技機1の名称や遊技盤面の図柄・模様と関連する図柄・模様が描かれており、従来は単色でしか表現できない前面枠10がパチンコ機1の名称や遊技盤面の図柄・模様とも関連して、全体がマッチングするようにカラーの図柄意匠が表側に記載され、表示される。

この図柄意匠シート31は、印刷が容易で不透明な紙、樹脂、布製シート等が用いられる。不透明な紙や樹脂シートに印刷した場合、大量に安価に容易に図柄意匠32を設けることが可能で、また図柄の変更も容易である。

更に図柄に夜光塗料などの特殊インキを用いることも可能で、照明によってカラーが変化する様に設ける事も可能である。また印刷が施されてなく、例えば各種無地の布及び模様や柄が織り込まれた布、また自然の木の葉や花びら等も意匠シート31として表示できる。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

なお、図柄意匠シート31は1枚でなく、例えば右半分と左半分のシートを組み合わせても良く、更にキャラクターなどの図柄を部分的に適宜位置に挟みこむことも可能で、図柄意匠シートがいっそう容易に効果的に設けることができる。

上記の図柄意匠シート31のランプ飾り22、飾り窓23、表示窓24部分はくり貫かれており、この部分はランプ表示が行なわれるようにしてある。

この図柄意匠シート31は、例えば意匠シート押さえ33を用いて窓枠体21の裏面に固定してもよく、また窓枠体21に固定するガラス枠体41によって挟着し保持してもよい。また窓枠体21にシート保持用の小突起を四隅に突出させ、この小突起で図柄意匠シート31に係止し保持するようにしても良い。